

通期の見通し

平成 17 年度の販売電力量については、前年度の記録的な猛暑の反動により冷房需要が大幅に減少したことや、産業用需要が弱含みで推移するものと見込まれることから、前年度比 1.0% 減の 2,840 億 kWh を見込んでおります。

売上高については、昨年 10 月からの料金引下げの影響などがあるものの、燃料費調整制度による収入増などが見込まれることに加え、連結においては昨年中間期末に子会社化したパワードコムの影響などにより、5 兆 1,800 億円程度、当社単独では 4 兆 8,600 億円程度になるものと見込んでおります。

一方、費用面では、原油価格の大幅な上昇による燃料費の負担増などに加え、連結においては、パワードコムの子会社化の影響による費用増などが見込まれますが、設備投資の抑制による減価償却費の減少、さらには業務運営全般にわたるコストダウンを引き続き進めることにより、経常利益は連結で 3,750 億円程度、当社単独で 3,500 億円程度は確保したいと考えております。また、当期純利益は、連結で 2,600 億円程度、単独で 2,200 億円程度になるものと考えております。

< 連結 >

売上高	5 兆 1,800 億円程度
経常利益	3,750 億円程度
当期純利益	2,600 億円程度

< 単独 >

売上高	4 兆 8,600 億円程度
経常利益	3,500 億円程度
当期純利益	2,200 億円程度